

科目名	精神看護学実習	単位数・時間数	2 単位 90 時間	開講年次	2～3 学年
担当講師名	専任教員、実習指導者		実習場所	一戸病院 一体型共同生活介護事業所「のぞみ」	
目的	精神障害のある対象を理解し、よりよい精神的健康が獲得できる看護を行うための、基本的知識・技術・態度を養う				
到達目標	1. 精神に障害があり医療及び保護が必要な場で生きる人を理解できる。 2. 精神に障害があり医療及び保護が必要な人がその人らしく生きるために必要な看護の役割を理解し、必要な看護を実践できる。 3. 患者―看護者関係の発展について実践を通し理解できる 4. 精神の障害とともにその人らしく暮らす人を支える多職種の役割と連携を理解できる。				
実習内容・方法	1. 精神看護の特徴の理解 1) 患者の安全を守るための病棟の構造や管理、特徴、看護師の役割について説明を聞き考えを深める。 2) 精神障害者に対する人権擁護の重要性を理解するために法令を調べる。 2. 患者・看護者関係の構築過程 1) 受け持ち患者とコミュニケーションをとり、プロセスレコードを用いて分析する。 2) 自分自身の対応のあり方を内省し実践する。 3. 患者を受け持ち看護過程を展開する。 4. 受け持ち患者の心身の変化が日常生活に及ぼす影響を把握しながら、活動や休息、日常生活援助を実施する。 5. 社会復帰のための資源や教育についての理解 1) 法令を調べる 2) 院内で行われている教室へ参加する。 SST、心理教育、家族教室、デイケア、アルコールプログラム等 3) 地域の社会資源について調べ、受け持ち患者の退院後の生活について考える。 4) 事業所の見学・体験を通して、事業所の支援の実際、利用者の特徴、スタッフの役割などを理解する。				
備考	詳細は、実習要綱を参照する				
成績評価方法	実習評価表に基づき評価する				